



感染制御医学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2019-04-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000778

山寺幸雄, 伊藤祐子, 志村浩己. 呼吸器領域における超音波検査の有用性. 第 49 回日本臨床検査医学会東北支部総会・第 28 回日本臨床化学会東北支部総会; 20170729; 秋田. プログラム・抄録集. 11.

〔特別講演〕

志村浩己. 福島県民健康調査「甲状腺検査」の現状報告. 第 39 回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会; 20170923; さいたま.

〔その他〕

大花 昇. 今後の検査部マネジメントと方向性. Wako 学術講演会; 20170207; 東京.

志村浩己. 甲状腺超音波診断の基礎と up date. 第 60 回日本甲状腺学会学術集会; 20171005; 別府.

感染制御医学講座

論 文

〔総説等〕

金光敬二, 仲村 究. 【肺炎への最新アプローチジェネラリストの立場とスペシャリストの視点から】治療抗菌薬の使い分けや適応の基本的な考え方 カルバペネム系薬 イミペネム/シラスタチン, それともメロペネム? Medicina. 201701; 54(1):84-87.

山本夏男, 仲村 究, 金光敬二. 【血流感染予防の最新知見が示す 血管内留置カテーテル管理の極意】これが最新の考え方! 血管内留置カテーテル管理のエビデンス カテーテル挿入・留置・抜去の管理. 感染対策 ICT ジャーナル. 201707; 12(3):231-237.

金光敬二. 【国際的に脅威となる感染症とその対策】中東呼吸器症候群. 日本医師会雑誌. 201705; 146(2):249-253.

仲村 究, 阿部良伸, 柏崎 潤, 高野由喜子, 大橋一孝, 金光敬二. 感染症検査 up to date プロカルシトニン、プレセプシンを含めた新しい感染症バイオマーカー. 臨床病理. 201708; 65(8):935-942.

著 書・訳 書

金光敬二. 破傷風. In: 猿田享男, 北村惣一郎 監修. 1336 専門家による私の治療 2017-18 年度版. 東京: 日本医事新報社; 201707. p.917-918.

研究発表等

〔研究発表〕

金光敬二. デバイス関連感染. 平成 28 年度院内感染対策講習会 (東京会場); 20170119; 東京.

金光敬二. 医療機関における院内感染予防対策. 平成 28 年度医療安全研修会; 20170130; 福島.

仲村 究. 卵巣癌および腹膜播種に伴ったカンジダ血症の一例. 真菌感染症フォーラム in 福島; 20170204; 福島.

仲村 究, 三浦里織, 森 浩子, 小針朱子, 吉田明子, 山本夏男, 金光敬二. オゾン水(4ppm)を用いた手指消毒の有効性に関する検討. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会; 20170224; 神戸. プログラム・抄録集 32 回. 274.

山本夏男, 木村秀夫, 飯沼範子, 小針朱子, 仲村 究, 森 浩子, 大花 昇, 金光敬二. 市中病院 (Antimicrobial Stewardship Team) での ASP (抗菌薬ラウンド) 内容の解析. 第 32 回日本環境感染学会総会・学術集会; 20170225; 神戸. プログラム・抄録集 32 回. 454.

掛屋 弘, 金光敬二, 柳原克紀, 関 雅文, 矢野寿一, 遠藤史郎, 小澤大樹, 小佐井康介, 中家清隆, 川元康嗣, 渡部祐司, 賀来満夫, 三浦里織. 敗血症原因菌同定試薬 Diagnosep (ディアグノセップ) の臨床的検討. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会/第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 20170406; 東京. 感染症学雑誌. 91(臨増):257.

仲村 究, 山本夏男, 金光敬二. ヒトパレコウイルス 3 型感染による流行性筋痛症の一例. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会/第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 20170407; 東京. 感染症学雑誌. 91(臨増):379.

山本夏男, 仲村 究, 金光敬二. 市中病院での抗菌薬適正使用ラウンド内容 (2016 年度) の解析. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会/第 65 回日本化学療法学会学術集会 合同学会; 20170408; 東京. 日本化学療法学会雑誌. 65(Suppl.A):397.

仲村 究. 福島県立医科大学附属病院感染制御部の取り組みについて. 平成 29 年度県北地域院内感染対策研修会; 20170621; 福島.

金光敬二. SSI 予防のためのガイドライン 2017. 平成 29 年度第 1 回院内職場研修会 (岩手県江刺病院); 20170628; 奥州.

金光敬二. 手洗いの重要性. 第 10 回北海道感染対策セミナー; 20170819; 札幌.

仲村 究. ESBL 産生菌の集団発生を経験して～母乳による集団発生を経験して～. 第 9 回 J 感染制御ネットワークフォーラム; 20170826; 仙台.

仲村 究. 尿路感染症の治療中に腸腰筋膿瘍を合併した症例. 第 22 回南東北化学療法シンポジウム; 20170902; 仙台.

仲村 究. 血液内科領域における血液感染症への対応. 血液内科感染症講演会 in Fukushima; 20171011; 福島.

黒見祐美子, 阿部 暖, 村上文伸, 吉田健二, 安田 恵, 伊藤英一, 杉浦嘉泰, 宇川義一, 本間真理, 仲村 究, 黒岩大地, 関野啓史. 咽後膿瘍から環軸椎椎炎、硬膜外膿瘍、髄膜炎をきたした放線菌感染症の一例. 第 22 回日本神経感染症学会総会・学術大会; 20171013; 北九州. NEUROINFECTION. 22(2):239.

仲村 究. 保育所ラウンド（感染症予防のポイント）. 保育所等における感染症予防研修会; 20171013; 南相馬.

仲村 究. 内服困難であったクロストリジウム・ディフィシル関連下痢症の症例. 第 4 回福島重症感染症研究会; 20171021; 福島.

斎藤恭一, 遠藤史郎, 中野竜一, 鈴木由希, 中野章代, 笠原 敬, 三笠桂一, 矢野寿一, 賀来満夫. 薬剤感受性ディスクと液体培地を用いた迅速・簡便かつ高精度なカルバペネマーゼ産生菌検出法 Carbapenemase Activity Test: CAT の新規開発. 第 65 回日本化学療法学会西日本学術集会; 20171026; 長崎.

仲村 究. ダニ媒介感染症の診断と治療. 第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会／第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会; 20171101; 東京.

仲村 究. 日常診療で遭遇する感染症. 平成 29 年福島県医師会感染症危機管理研修会; 20171105; 郡山.

金光敬二. 成人が接種するワクチン～施設内感染対策の視点から～. 第 23 回東北院内感染対策研究会; 20171111; 仙台.

〔特別講演〕

金光敬二. 外科医に必要な感染対策. 第 93 回北日本形成外科学会東北地方会; 20170128; 福島.

金光敬二. 災害時の感染症と感染対策. 第 30 回石川感染対策フォーラム; 20170603; 金沢.

金光敬二. 感染制御の実際と感染症コンサルテーション. 感染症対策セミナー; 20170623; 仙台.

〔招待講演〕

金光敬二. 成人におけるパレコウイルス感染症. 第 66 回日本感染症学会東日本地方会学術集会／第 64 回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会; 20171102; 東京.

金光敬二. 薬剤耐性菌(AMR)を出さないための対策について. 平成 29 年度県南地域医療安全研修会; 20171207;

白河.

〔その他〕

金光敬二. 生体消毒薬の有効性評価 SSI のガイドライン、2017 を含めて. 第 16 回東海地区感染制御研究会学術講演会; 20170820; 名古屋.

仲村 究. 当院におけるアウトブレイクへの対応. 院内感染防止対策講習会 (旭川医科大学病院) ; 20170830; 旭川.

仲村 究. 新型インフルエンザ等について. 平成 29 年度県北地域新型インフルエンザ等対応訓練; 20171108; 福島.

仲村 究. 新型インフルエンザ等と院内感染対策. 平成 29 年度相双地区新型インフルエンザ等対応訓練; 20171114; 南相馬.

仲村 究. 医療機関における新型インフルエンザ等対策のポイントについて. 平成 29 年度県南地域新型インフルエンザ等対応訓練; 20171124; 白河.

輸血・移植免疫学講座／輸血・移植免疫部

論 文

〔原 著〕

Ueda K, Ikeda K, Ikezoe T, Harada-Shirado K, Ogawa K, Hashimoto Y, Sano T, Ohkawara H, Kimura S, Shichishima-Nakamura A, Nakamura Y, Shikama Y, Mori T, Mason PJ, Bessler M, Morishita S, Komatsu N, Shide K, Shimoda K, Koide S, Aoyama K, Oshima M, Iwama A, Takeishi Y. Hmga2 collaborates with *JAK2*^{V617F} in the development of myeloproliferative neoplasms. *Blood Advances*. 201706; 1(15):1001-1015.

Ono T, Ohto H, Yasuda H, Hikichi R, Kawabata K, Minakawa K, Ono S, Kikuchi M, Sugawara A, Saito S, Takano N, Nollet KE. Comparative study of two automated pre-transfusion testing systems (microplate and gel column methods) with standard tube technique. *International Journal of Blood Transfusion and Immunohematology*. 201705; 7(1):15-25.

Kashimura M, Goto A, Nollet KE, Ohto H, Yasumura S, Konno K. Who returns and becomes a regular blood donor? Analysis of a donor database in Fukushima, Japan. *ISBT Science Series*. 201708; 12(3):340-348.